

令和7年度 第14号

天小だより

命輝き笑顔あふれる天神川小学校

令和8年3月24日

伊丹市立天神川小学校

校長 徳田 達郎



ホームページ

卒業おめでとう ～「地域の宝」として、輝く未来へ～

3月19日(木)110名の卒業生が天神川小学校を巣立ちました。

今年度から5年生児童が参加。卒業生からバトンを受け取ろうとする、実に見事な態度でした。

今号の学校だよりでは、卒業式で校長から卒業生へ贈った式辞の内容から、子どもたちの成長の軌跡と、地域や保護者の皆様への感謝の思いをお伝えいたします。

■ 卒業生の姿に心を動かされた一年

この一年、卒業生たちの姿に心震わされることが何度もありました。広島への修学旅行では、平和公園でのセレモニーの際、折り鶴実行委員の声に耳を傾け、近くにいた外国の方も一緒に黙とうをされていました。今年から始まった縦割り活動では、リーダー会議に挑む真剣な表情が見られました。ある児童は、一人ひとりに「おめでとう」と伝えるため、グループ全員の誕生日をメモしていました。体育大会に向けたソーラン節の自主練習や、体をのけぞらせて大声を張り上げた応援合戦。そして、図工展で描かれた自画像と添えられた漢字一文字には、あふれ出す思いと願いが込められており、胸が熱くなりました。

■ 地域への思いと、これからの恩返し

3学期には、卒業を前に「学校や地域のためにできることはないか」と考え、桑田公園、荒牧第二公園、土橋公園、そして天神川の川土手の清掃をしました。子どもたちの感想には、普段からごみを拾ってくださっている地域の方々への感謝と、「自分もこの地域をよくするために、できることをしたい」という思いが綴られていました。3月12日、校長の私と一緒に「天神川小学校に関わる人の願いについて考えよう」という授業を行いました。「天神川小学校はどんな学校ですか?」という問いに、子どもたちからは、「地域の人々の願いが詰まった学校」「たくさんの人たちの願いに支えられ、協力して作られた歴史のある学校」という答えが返ってきました。振り返りシートには、「天神川小学校に恩返しをしていきたい」「植木剪定は来年も再来年も参加したい」「自分からすすんでこの地域に貢献できるよう頑張りたい」と力強く書かれていました。

■ 地域の方の強い願い

日頃より、登下校の旗当番、ミシン・電動のこぎり・調理実習などの授業支援ボランティア、夜の公園の少年補導パトロールなど、多くの方々が子どもたちを支えてくださっています。以前、地域の方にその思いを伺ったところ、「子どもたちは、この地域の宝です。未来のこの地域は、この子どもたちが支えてくれるのです。だからこそ、幸せになってほしい。安心して学んでほしい。思い切り成長してほしい。」と答えられました。卒業生には、この強い願いに対して自分なりの答えを見つけ、行動していったほしいと伝えました。

■ 命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

卒業生たちは、この天神川小学校で学んだことを誇りに、一步一步前進していきます。

在校生の皆さんも、卒業生の立派な姿を受け継ぎ、さらに素晴らしい学校をつくっていきましょう。